

令和3年度端境期等対策産地育成強化 推進事業の事業者を募集します！

1 本事業について

- ◎実需者の国産野菜の安定調達ニーズに対応するため、国内産が需要に応え切れていない品目や作型（端境期）の生産拡大に向けた生産・流通体系の構築、作柄安定技術、新たな作型の導入を支援します。
- ◎対象品目として、にんにく、しょうが、さといも、えんどう、アスパラガスの5品目が追加されました。
(14品目→19品目)

公募期間

令和3年1月12日（火）～2月26日（金）必着

2 事業内容

◎助成額

事業対象面積×15万円（10aあたり）（初年度に一括交付）

◎事業期間

3年間（令和3年4月～令和6年3月）

◎事業対象面積

加工・業務用：10ha以上50ha以下 / 生食用：5ha以上50ha以下



3 対象品目

- 【加工・業務用】たまねぎ、にんじん、ねぎ、ほうれんそう、スイートコーン、えだまめ、ブロッコリー、ごぼう、トマト、セルリー、
にんにく、しょうが、さといも、えんどう、キャベツ（10～11月又は**1～5月**出荷）、レタス（9～3月出荷）、かぼちゃ（11～6月出荷）、だいこん（4～**7月**又は10～11月出荷）、**アスパラガス（2～5月又は9～11月出荷）**
- 【生食用】 トマト（9～10月出荷）、かぼちゃ（11～6月出荷）
- ※追加・改正箇所は**赤字**で記載しています。

4 事業に参加できる者

農協連合会、農協、農事組合法人、農地所有適格法人、特定農業団体、農業者の組織する団体

（注）事業参加生産者が5戸以上（農事組合法人等の場合、定款に記載された構成員(出資者)5戸以上）必要です。

5 成果目標（①及び②）

- ① 全体の出荷量のうち、20%以上を対象出荷期間（端境期）に出荷すること。
- ② 対象出荷期間（端境期）の出荷量が、現状に比べて10%以上増加すること。

<問い合わせ先>

独立行政法人農畜産業振興機構 野菜振興部 助成業務課

山田・室田・志田 tel: 03-3583-9797 URL: https://www.alic.go.jp/y-josei/yajukyu03_000138.html



<事例1>

加工・業務用キャベツの契約取引数量が4倍増加 (農事組合法人たいよう農園) (愛媛県)

1 目標達成状況 (目標: 契約取引数量約3倍増加)
1000t (H25年度) → 3761t (R元年度) 【約4倍増加】

2 主な取組内容

- ① 高性能農機、鉄・プラスチックコンテナ、農業管理ソフト、クラウドシステム、農機・肥料の一括購入等による生産・流通コストの削減
- ② 高畝式栽培、発根活着剤、堆肥・土壌攪拌、保冷車・冷蔵庫によるコールドチェーン化等による収量・品質向上と作柄安定
- ③ インターンシップや寮整備による新卒者の積極的採用



<事例2>

加工・業務用レタスの契約取引数量が4割増加 (福岡京築農業協同組合) (福岡県)

1 目標達成状況 (目標: 契約取引数量約30%増加)
259t (H25年度) → 375.7t (R元年度) 【約40%増加】

2 主な取組内容

- ① 定植機、低コスト肥料、通いコンテナ等の導入による生産・流通コストの削減
- ② 土壌改良材、全面マルチ栽培、高畝栽培、噴霧機による切り口洗浄等の導入による収量・品質向上と作柄安定
- ③ 生産者と実需者との交流促進による契約取引の安定



<事例3>

加工・業務用ねぎの単収が3割増加 (株式会社TOSIファーム) (埼玉県)

1 目標達成状況 (目標: 単収約30%増加)
3300kg (H25年度) → 4321kg (R元年度) 【約30%増加】

2 主な取組内容

- ① 定植、弓打ち、土上げ、収穫等の生産工程の機械化、冬季保温資材等の導入による生産・流通コストの削減
- ② プラウ耕、発根活着剤、緑肥、種苗メーカーとの情報交換等による収量・品質向上と作柄安定
- ③ 栽培履歴フォーマットや青果記帳システムの使用によるトレーサビリティの向上

